

# NEWS LETTER

2009年 4月 10日 No. 549

三重大学教職員組合発行

直通：059-231-4447（内線 2169）

E-mail：KYF03351@nifty.ne.jp

URL：http://homepage2.nifty.com/mie-union/

## 2009年度定期大会を終えて

2009年1月15日（18:10～19:30）に人文学部校舎3階大会議室で行われました。大会は、寺川副委員長（人文）の開会宣言で幕が開き、議長団選出、来賓挨拶・メッセージ、資格確認の順に沿って進められました。議長団に佐藤年明議長（教育学部）・倉島彰氏（生物資源学部）また議事録署名人に深井英喜氏（人文学部）・和藤浩氏（工学部）の4代議員が選出された後、三重県国家公務関連労働組合共闘会議議長 久保雄一氏と、全国大学高専教職員組合中央執行委員長 高木正見氏、および東海労働金庫津支店支店長 木本浩司氏よりそれぞれご挨拶とメッセージを頂きました。大会は代議員総数24名のうち、14名の出席者と7名の委任状、計21名の参加で成立しました。

### 大会の流れと概要報告

大会全体が三段階に分けて進められました。

第一段階では、旧執行委員会による2008年の活動報告（第1号議案）と会計報告（第2号議案）を中心に進められました。弓場中央執行委員長による開会の挨拶の後、草地書記長より第1号議案について報告があり、それに対して、異議なし、拍手多数で、承認されました。引き続き第2号議案について、「書記賃金が予算より少ないのは、どうしてですか。」（高山氏（生物資源学部支部）、「多く休んだので、支払いが予算より少なくなりました。」（寺川副委員長）などの質疑とコメントを頂いたうえ、拍手多数で、承認されました。

第二段階では、投票により2009年度の中央執行委員、監事及び次期選挙管理委員選出などを行いました。議長を交代し、2009年度役員選挙（第3号議案）に入り、選挙管理委員（豊福・須曾野・梅田委員）が役員選出規定に基づき、新役員の選出を行いました。「全役員が信任された」の開票結果が豊福選挙管理委員長により発表されました。選出された新役員・監事・選挙管理委員は以下の通りです。

2009年度中央執行委員会構成メンバー

役職	中央執行委員長	副委員長	書記長	書記次長	執行委員	監事		選挙管理委員	
氏名	米川直樹	森 久綱	山口泰弘	板谷明美	田村雅史	弓場 徹	寺川史朗	草地 元	常 清秀
所属	（教育）	（人文）	（教育）	（生資）	（工）	（教育）	（人文）	（教育）	（生資）

第三段階では、まず、新執行委員会米川委員長よりの挨拶、それから新役員全員の自己紹介に移りました。その後、板谷書記次長より、2009年度活動方針案（第4号議案）が提案されました。この提案について、「三重大学の将来構想について、今の役員が2回目の目標文書を文科省へ提出されていますが、漠然とした書き方をしているので、内容が透けて見える箇所は組合で要望をまとめて出してほしい。」（綾野氏：人文学部支部）「個人評価の昇給等の反映について、次期学長からの公開質問状の回答では、積極的にやりたいと述べているので注視してほしい。これからのこのことに関して情報を提供してほしい。」豊福氏（人文学部支部）「活動方針の中の「教員の超過勤務に関する手続き」の文章が、確かに状況は書かれているのですが、組合の方針に当たるものが何も書かれていないように思いますがこの点いかがでしょうか。」高山氏（生物資源学部支部）と、いった意見が出ましたが採決 拍手多数で承認された。また一般会計予算案（第5号議案）について提案があり採決 拍手多数で、承認されました。

以上をもって、2009年度に関する議案が全部承認された後、議長団を解任し、最後に、田村新執行委員の閉会の挨拶で大会が無事終了しました。

## 09 年度中央執行委員の信任投票結果

規約第 26 条に基づき、新役員の新任投票が 2009 年 1 月 23 日（金）～2009 年 2 月 16 日（月）の期間に行われました。2 月 19 日の選挙管理委員会の開票結果によると、総投票数 143 票（うち白票は 2 票、無効票は 1 票）のうち、信任投票数 140 票で投票者の過半数を満したたので、候補者全員が信任されました。

## 09 年度の中央執行委員の挨拶

米川 直樹・中央執行委員長（教育学部・教員）

2009 年度の中央執行委員長に選ばれました米川です。どうぞ宜しくお願いいたします。国立大学の法人化に伴って、色々な問題が出てきているようですが、三重大学の場合は、どのような問題があるのか、それらの問題はどのような内容なのかなどについて、まず情報収集を進めたいと考えています。そして、得られた情報を整理しながら執行委員の方々と協力しながら出来る範囲で対応していこうと考えていますので、宜しくお願いいたします。

森 久綱・中央執行副委員長（人文学部・教員）

人員や研究費の急速な削減による研究・教育環境の劣悪化、実質的には賃金抑制となる業績評価制度の本格実施など、私たちの労働環境は日増しに悪化しているなか、全国ではどのような取り組みが行われているのか。三重大学においてどのように取り組むべきなのか。組合員の皆さまの声を聞きながら、考えていきたいと思えます。若輩者ではございますが、1 年間宜しくお願い申し上げます。

山口 泰弘・書記長（教育学部・教員）

前回中央執行委員を務めさせていただいたのが 8 年前。そのときの自己紹介に「三年前に本学に着任しましたが、早々に任期制問題とか公務員の二五%削減問題、はたまた独立行政法人化とか、大学がまさかこんな草刈り場だとは・・・。」と書きましたが、まさにそのまっただ中に身を置いて、時代の変化の苛烈さをしみじみと感じております。今回は、書記長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

板谷 明美・書記次長（生物資源学部・教員）

はじめて中央執行委員をさせていただくことになりました。約 3 年前に三重大学に赴任し、組合の活動もはじめてで何をしたら良いのか右往左往しています。徐々に勉強していきながら、組合の活動を多くの方に知っていただいて組合員を増やし、より良い職場になるようにしていけたらよいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

田村 雅史・執行委員（工学部・技術職員）

前年度に引き続き今年度も執行委員をさせていただくことになりました。ご質問、ご要望等、どんなものでも結構ですのでお気軽に皆さんのお声をお寄せ下さい。組合が皆さんの身近に感じられるようにがんばりますのでご指導、ご鞭撻よろしくお願い致します。

# 2009 年度活動方針

## ・ 取り組む課題

### 1 . 教育・研究・医療などの労働条件に関する課題

#### 1 ) 3 月までの課題（結果報告）

休憩時間の 1 時間への延長について

本年度の学長交渉において、休憩時間の選択制(45 分か 1 時間の個人選択)を求める組合の要求に対し、

当局は一律1時間の休憩時間の設定を提案してきましたが、休憩時間の延長自体は好ましいことですが、一方で終業時間が一律15分遅くなるとすれば、それによって不都合が生じる職員が出てくることも予想されます。今年人事院は、国家公務員の勤務時間の15分短縮の勧告を出すことを計画しています。このことが確定した後、具体的取り決めにかかりたいとの当局からの回答で、このことは、継続した課題となっています。

#### 教員の超過勤務に関する手続き等の策定について

労働基準監督署による指導にもとづき、裁量労働制の教員に対しても超過勤務の実態調査が行われ、未払い分の追加給付が行われました。また、今後の教員の超過勤務（週休日、休日及び深夜業務）について、当局から具体的なルールや手続き等が出されましたが、確定した状況とは言いがたく今後も注視する必要があります。

昨年度の取り組みは組合ホームページ <http://homepage2.nifty.com/mie-union/> のニュースレター N0.542～547号（団体交渉申し入れ書項目など）を掲載中です。

## 2) 4月以降の課題

#### 教職員の個人評価の昇給・昇格への反映について

教員の個人評価結果の昇給・昇格への反映については、個人評価はあくまで判断材料の1つで、最終評価については各部署の裁量で決められ、来年度(21年度)から本格実施されます。しかし、必要に応じて制度を含めた変更が適宜加えられていくとのことです。今後も評価委員会等における議論の動向を注視する必要があります。また、職員については、すでに管理職において処遇への反映が始まっており、その他の職員についても試行結果に基く評価ルールの策定が行われるものと思われます。いずれについても、不服申し立て制度等の確立を含めて、「透明性・公平性・客観性」にもとづく制度の確立を要求していきます。

#### 昇給・昇格や待遇改善に関する課題

大学教員については、「准教授・助教・新助手」などの新しい身分について、引き続き職務にふさわしい待遇を要求します。また附属学校教員については、給与面で改善されましたが、依然として公立校との格差は存在しており、その解消に努めます。事務・技術系職員については、俸給表の改定に伴う不利益の改善を引き続き求めるとともに、前任技術専門員制度等の早期の確立を求めます。看護師等の病院職員については「7:1看護」の実現をめざしつつ、看護師の大幅な増員と適切な労働時間管理等による労働環境の抜本的な改善を求めます。

#### 事務職員と非常勤職員・派遣職員の問題

事務職員については、現在、全大教が実施している事務職員の労働実態調査の結果等をふまえ、要求の把握とその改善に努めます。また、組合の取組みの結果、非常勤職員の正規職員への登用が一部実現しましたが、今後も派遣職員を含め学内における雇用の実状を把握し、学内からの正規職員への登用制度の確立など、その待遇改善に努めます。

## 2. 三重大学の将来構想に関する課題

運営交付金の減額や文科省の方針などによっては、一層の人員削減や合理化が求められると考えられ、文系学部等の研究・教育組織の再編が行なわれる可能性もあります。組合として引き続きこのことを注視し、必要があると判断した場合には、具体的対応をしていきます。

## 3. 全国的課題

運営費交付金のさらなる削減や競争経費化」や「国立大学の大胆な再編統合」などの動きに対して断固

反対するとともに、派遣労働の規制緩和、「憲法改正」の動きなど、全国的な諸課題に対して、全大教と協力しつつ情報発信や署名活動などの取り組みを行います。

## ・活動の重点

### 1．各職場の実態を把握し要求をまとめる

附属病院看護師の労働実態調査に基き就労内容の改善要求を行ないました。また、教員と事務職員に対するアンケートを実施し要求の把握という点で一定の前進がみられました。引き続き、アンケート調査等を活用し教職員の労働実態や要求事項の把握に努めます。

### 2．労働協約を活用し、学長交渉、担当理事交渉を積極的に行う

労働協約を活用して団体交渉を積極的に行います。また、個別案件に関する申入書の提出を積極的に行い、学長交渉のみならず、担当理事や人事チーム・職員チーム等との間で交渉や懇談等を行います。

### 3．学内情勢や全国的課題の情報を組合員へ伝え、署名などの活動を行う

組合ホームページの一層の充実を図るとともに、各支部との連携を強化しつつ組合員への積極的な情報発信を行います。また、全国的課題についての情報収集・発信と、署名活動等への取り組みを行います。

### 4．組合員を拡大し、組合の力と財政を強化する

人文・教育については引き続き教員の過半数の維持と拡大、生物資源支部についても教員の過半数の確立を目指します。工学部（とくに教員）医学部については引き続き組合員の拡大を目指すとともに、附属病院については一昨年度からの取り組みをふまえて、現組合員との連絡を取りつつ組合員拡大の契機を探ります。また、事務職員についてはアンケート調査結果等をもとに要求の把握に努め、組合員の拡大に結びつけていきます。

## 最近の活動報告とその動き

- 1/31～2/1 全大教合同地区別単組代表者会議（森副委員長出席）
- 2/3 県国公へ「三重大学の非常勤職員の雇用契約の更新についての状況」を報告。
- 2/9 静岡大学教職員組へ「三重大学非常勤職員の時給単価等の情報」を報告。
- 2/14 全大教技術職員交流会議（田村委員・中村氏出席）
- 2/19 選挙管理委員会 09年度役員信任投票の開票（役員全員、信任された）
- 2/19 臨時中央執行委員会（4月以降の書記の雇用形態等について検討）
- 2/25 各支部へ「書記の募集案内」を送信して、書記募集の協力依頼をした。
- 3/11 4月以降採用の書記候補に、採用通知を送付した。
- 3/18 人事チームへの挨拶（米川委員長、森副委員長、山口書記長、太田書記）
- 3/27 ニュースレター548号（団体交渉報告掲載）を発行。
- 4/1 書記に、辞令と雇入通知書を渡す。
- 4/3 各支部へ全大教からの組合員拡大パンフ等を送付して、組合員拡大を推進依頼した。



職場で何か困ったことがあれば、気楽にご相談下さい！

連絡先：三重大学教職員組合書記局

場 所：三重大学教育学部・附属教育実践総合センター内・1階)